



こども図書館だより

令和7年 12月 1日
認定こども園
五日市こどもの国
こども図書館

12月号

今月の絵本の紹介

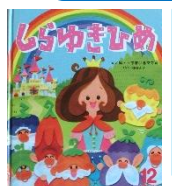
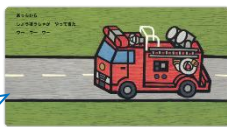


『どっちからくるのかな?』
山崎 杉夫 作
福音館書店

道路や、川、がたがた道や線路に乗り物がやってきます。どっちからくるのかな?

「あっち!」「こっち!」と、予想しながら読むと、楽しさ倍増です。

あっちから
しょうぼうしゃがやってきた
うーうー



『しらゆきひめ』
すまいるママ 文・絵
ひかりのくに

ある国に、雪のように美しいお姫様がうまれました。お姫様は、白雪姫と名づけられ、すくすくと大きくなりました。お城には、悪いお妃様がいました。お妃様は、魔法の鏡に、「この国で一番美しいのはだあれ?」と聞きました。すると、『お妃様は美しい!でも、白雪姫はもっと美しい!』と答えました。

それを聞いて怒ったお妃様は、狩人に、白雪姫の心臓を持って来るように言いつけました。心優しい狩人に、逃がしてもらった白雪姫は森に入って行き…。

絵が、フェルト、布、ビーズなどでできた作品なので、絵を見るだけでも楽しめます。

年末年始の休館のお知らせ

12月30日(火)から1月4日(日)まで
休館いたします。

おすすめ絵本の紹介



『サンタさんから
きた てがみ』
たんの ゆきこ 作
垂石 眞子 絵
福音館書店

今日は、クリスマスの前の日。ねずみの郵便屋さんは、かばんに手紙を詰め込むと、はりきって外に飛び出しました。あんまり急いだので、雪ですべてで転んで、手紙がかばんから飛び出してしまいました。拾い集めた手紙の中に、雪でぬれて宛名がわからなくなった手紙がありました。

しょんぼりしながら、森の動物たちに手紙を配達するねずみさん。そんなねずみさんを見て心配をした動物たちは、一緒に、誰にあてた手紙なのかを考えて…。

動物たちの優しさに心温まる、クリスマスが待ち遠しくなる絵本です。



『ぐりとぐらの
おきゃくさま』
中川 李枝子 作
山脇 百合子 絵
福音館書店

森で雪合戦をしていた、ぐりとぐらは、雪の上に大きな足跡を見つけました。その足跡をたどって行くと、なんと、自分たちの家の前にたどりつきました。ドアを開けてみると、そこには大きな長靴と真っ赤なオーバー、真っ赤な帽子と靴下が。「おきゃくさまは、どこだろう。」と、家中を探していると、台所からカステラを焼く、いい匂いがしてきました。お客さんの正体は一体だれだったのでしょうか!?